

性と生について考える ～私たちにできること～



講師 高岡市学校医（産婦人科医）
あいアートクリニック 院長
副田 善勝 先生

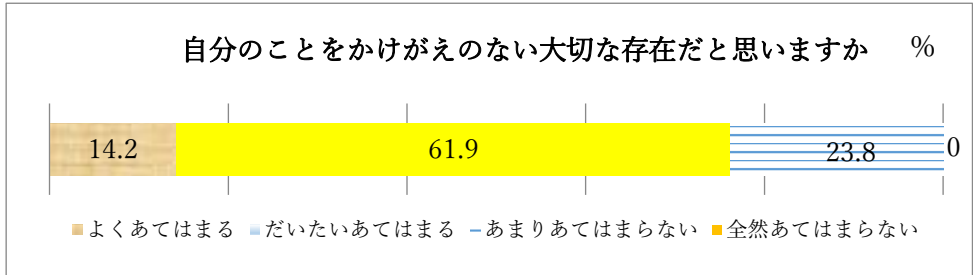
7月4日（水）に、3年生を対象に「性に関する指導講話」が行われました。学校産婦人科医である副田 善勝 先生をお招きし、思春期の心と体の変化、妊娠・出産、性感染症について詳しく教えていただきました。



日頃より「生命」と向き合
って仕事をされている副田
先生からのメッセージは、生
徒達の心に強く残ったよう
でした。

生きていることはまるもうけ
自分も好きになる。相手を大切にする。

心に響いた
言葉



事前アンケートでは、上記の質問に対してかけがえのない存在ではないと答えた生徒は、23.8%もいました。この学習で自分のことや相手を大切に思うきっかけとなりました。

自分で守ろう 自分の体、自分の人生

性感染症とは
性的接触によって感染する病気のこと。
病原体は、感染者の精液や膣分泌液、血液、
性器や口などの粘膜。

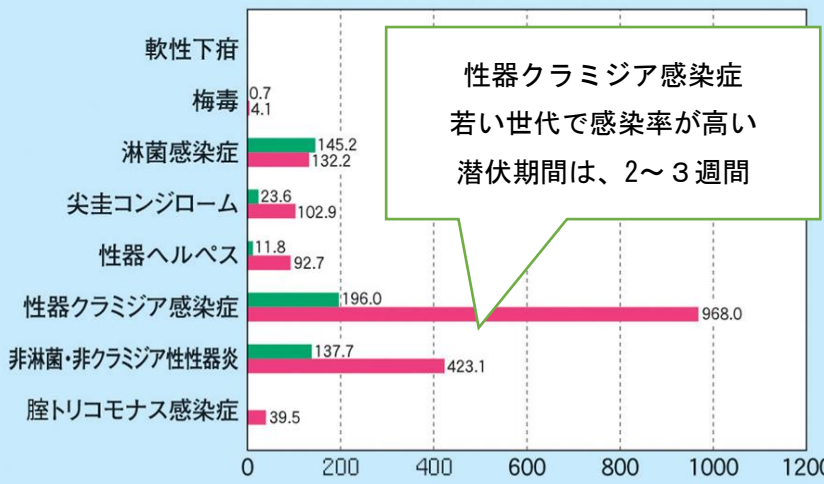
性行為に伴って、主に「妊娠」と「性感染症」という2つの
事柄が起こる可能性があります。生み育てられる年齢になるま
では、性関係を持たないこと、そしてNOと言える勇気を持つ
ことが必要です。



潜伏期間が長く症状が出にくい

たった1度の性的接触でも

10代(15~19歳)の性感染症罹患率 (10万人・年対罹患率)



性感染症にかかる可能性があります。
その中には、はっきりした症状がでない
ものや、潜伏期間が長いものがあるた
め、気がつかないうちに他人に感染させ
てしまうこともあります。代表的なのは、
クラミジア感染症です。

症状として男性は、尿道からうみ、排
尿痛、女性は多少おりものが増えます。
治療は抗生物質によって行われます。腹
膜炎を起こし腹痛で発見されることも
あります。子宮頸管炎、肝周囲炎と不妊
の原因にもなります。

質問：性感染症を検査する方法は？

- ・保健センターにて、HIVの検査が無料でできます。（名前を告げる必要ない。）
- ・性感染症を検査する方法としては、病院、検査キットがあり、血液や尿等を調べ、感染を確認しています。

性関係を持つことということは、自分の健康を相手に託すことであり、自分と相手の両方の健康に責任をもつ心構えが必要です。

性感染症かも……のサイン

- 性器やそのまわりがはれたり、水ぶくれやブツブツができた
- 性器やそのまわりがとてもかゆい・痛い
- おしっこをすると痛い
- おしっこに血やウミが混じる
- おりものの色が異常、ひどくにおう、急に増えた

サインのない場合もある！

気になるときは急いで産婦人科・泌尿器科・皮膚科・性病科へ！



相手の責任を負える年齢になってから性行為をすることが大切であることが分かりました。将来必ず考えなければならないことなので知識として知っておくべきだと思いました。

自分の健康を守るためにも、お互いのことをよく考えた行動が大切であると思いました。

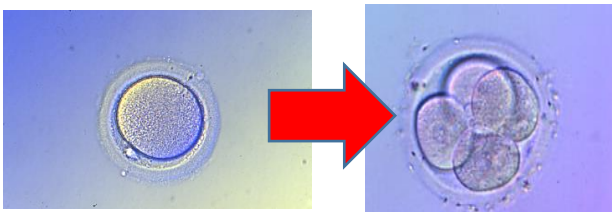
私は、「かけがえのない存在なのか」と思っていたのですが、話を聞いて、母が頑張ったから今があるのだと思ったし、世界に同じ人がいないから、自分のことも他人も大切にしていきたいと思いました。自分のよいところを見付けようと思います

これからも「いのち」を大切にしていきたいと思いました。



性感染症の中には、自分や他人が感染していても分からない時期があることが分かりました。また、性とは、命をつなぐことで、「いのち」「よろこび」「ふれあい」があり、一番大切なのは「いのち」であることだと思いました。

「性」は生きていたら避けては通れないものです。私自身いずれ結婚をして出産すると思うので他人事ではないと思いました。また、性感染症の対策をしていないと性感染症にかかるリスクが大きいです。正確な知識と十分な対策、「NO」という勇気をもっていきたいです。



針の穴ほどの卵子が、約1億～3億の精子の中の1個と出会い受精卵になります。受精卵が細胞分裂を繰り返します。